

吉岡初浩市長

4期目の決意

ともに育んできたわたしたちのまちへの想いを、アシタにつないでいく

8月の市長選挙で4選を果たし、9月9日から吉岡初浩市長の4期目の市政がスタートしました。3期目をふりかえるとともに、あらたな4期目のビジョンについてお伝えします。



よしおか はつひろ
吉岡 初浩
昭和30年 愛知県生まれ
昭和54年 名古屋市立大学経済学部卒業
平成11年 高浜市議会議員（平成19年まで3選）
平成17年5月～
平成18年5月 高浜市議会議長
平成21年9月 高浜市長に就任
平成25年9月 再選
平成29年9月 3期目就任
令和3年9月 4期目就任

はじめに

このたび、市長として今後4年間の市政を任せていただくこととなり、4期目に向けての決意を新たにしております。社会全体が新型コロナウイルス感染症の猛威に長期間さらされる中、感染拡大防止と社会経済の回復という大役を託していただき、身が引き締まる思いです。

市長として3期12年間、わがまち高浜の今をアシタにつなぐという目的に向けて、未来の世代のために何をなすべきか、10年、20年先の長期経営の視点に立ち、持続可能な高浜市のために何ができるか、何をしなければならぬか、常に未来を見据え、市民の皆さんとともにまちづくりに全力で取り組み続けてまいりました。この想いは12年経った今も変わらず、むしろこれまでよりも大きくなってまいります。

また、今後は国際社会共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の「誰ひとり取り残さない」というコンセプトを施策全般に浸透させ、新たに発生する課題に積極的に取り組んでいくことも重要になってまいります。

これから臨む4期目の4年間、新たな息吹も吹き込みつつ、これまでの想いを変えることなく、これまでの市民の皆さんと共に培ってきた多くの財産、そして、ともに育んできたわたしたちのまちへの想いを、アシタにつないでいくため、4つの政策を進めていきます。

ともに歩むまちづくり

計画期間の満了を迎える総合計画

では、高浜市のめざす将来のまちの姿を、生涯学習基本構想では、高浜市を支える人を育む方向性を、教育基本構想では高浜市のアシタのチカラである子どもたちの学びの姿を示し、その実現に向けたそれぞれの計画を市民の皆さんとともに策定します。

まちづくりの根幹は「人」です。まちをつくり、まちを育てる人、その人と人のつながりを大切にし、これからのコミュニティのあり方を皆さんとともに考えていきます。

健全財政を維持しつつ、市民サービスを低下させることなく、より向上させていくために、将来を見据えた財政計画をもとに、公共施設の適正な管理を進め、かぎりある財源を将来につなげていきます。また、行政サービスのデジタル化・ペーパーレス化を推進するとともに、更なるマイナンバーカードの普及も合わせて促進していきます。

また、動画やSNSなどを今以上に活用し、市政に関する情報をわかりやすく、迅速に、より積極的に発信することに取り組み、市民の皆さんとの情報共有を図ってまいります。

未来につなげるまちづくり

わたしたちの高浜市を将来へとつなぎ、発展させていくのはこれから高浜市を支えていく若者たちです。

若い世代が夢と希望を持って、未来に力強く羽ばたいていけるような環境を整え高浜市の未来へとつなげていきます。そのため、一人ひとりの教育的ニーズに応じた、きめ細かな指導を可能とする指導体制と安全で